

静岡市監査委員協議会 会議録

会 議 令和7年度 第9回 監査委員定例協議会

開催日時 令和8年1月8日（木） 午前9時10分～午前11時15分

出席者 監査委員 深澤 俊昭、白鳥三和子、堀 努、石井 孝治

事務局長 杉田 陽子

書 記 柴 秀和

山田 和誠、山田 裕、上野 貴

宇佐美亜希、袴田有美子、齋藤 升美

青野 洋平、神山 悟、谷 梓

会議内容

1 開会宣言 柴次長

2 例月現金出納検査等（11月分）

（1）説明者等

ア 各種会計 青野係長（監査第3係）

イ 病院事業会計 山田参事（監査第1係）

ウ 簡易水道事業会計 宇佐美係長（監査第2係）

エ 水道事業会計 宇佐美係長（監査第2係）

オ 下水道事業会計 青野係長（監査第3係）

カ 農業集落排水事業会計 山田参事（監査第1係）

（2）発言等

ア 各種会計

（深澤代表）

出納調書の差引過不足額欄を見ると、国民健康保険事業会計（事業勘定）及び介護保険事業会計が大きくマイナスになっているが、どのような事情があるのか。また、最終的にはどのような状況となるのか。

（事務局）

保険料などの歳入時期と保険給付費などの歳出時期がずれているため、11月末時点ではマイナスとなっている。

今後、決算見込みを立てて、一般会計繰入金の調整等により収支がマイナスにならないよう2月補正予算が組まれることになる。

イ 病院事業会計

山田参事から、1月末時点の預金残高が前年度と比較して少ない状況であるが、国からの補助金の受入れがあること、また、一般会計からの補助金の前倒しを財政課と協議して

いるところであり、資金ショートはしないことを清水病院事務局から確認した旨の説明があった。

（白鳥委員）

資金ショートすることはないということだが、月ごとの資金繰り表などにより、しっかり資金の予測をして報告してくれているということでは。

（事務局）

前回の実査において、資金予算表における数値の誤りに関して、資金繰りについては資金予算表よりも細かい資料で確認しているといった説明もあったことから緻密な形での管理は行われていると考えている。

ウ 簡易水道事業会計

（白鳥委員）

預金支出内訳書（支出）の総係費の内訳で職員の人数が前月比で1人減って3人となっているが、理由は何か。業務の改善等によって減員が可能となり、今後も3人で業務を行うこととなるのか。

（事務局）

11月に担当職員の1人が亡くなったため、1人減となっている。令和7年度末までは3人だが、令和8年度は4人に戻る予定とのことである。

エ 水道事業会計

（白鳥委員）

当初予算で予定していた修繕の実施に当たり、修繕引当金を取り崩したとのことだが、支出に充てたものは預金支出内訳書（支出）のどこに含まれているのか。

（事務局）

予算外支出の引当金（固定負債）に記載されている。

また、修繕引当金を充当した業務の消費税分については、予算内の執行となるため、水道事業費用の修繕費の欄に含まれている。例を挙げると、浄水費の修繕費の欄に記載がある水質試験センター空調修繕は、修繕引当金を充当した上で、消費税分がこちらに含まれている。

補足をすると、修繕引当金は積み立てた時に予算執行をしているため、取崩しについては予算外執行となるところ、消費税分については、当年度の費用として予算とともに処理をしている。

そして、修繕引当金の取崩しについては、予算書の重要事項説明の中に記載しており、令和7年度においては水道事業では1億7千万円程取り崩すと記載されている。

オ 下水道事業会計

（深澤代表）

予算執行表（収入）の不納欠損調整及び当科目の上段・下段に記載されている数字それぞれの内容は何か。

（事務局）

不納欠損調整は、調定された債権が、時効の完成等によって回収不能になり、債権が消滅した場合にとられる会計科目である。また、上段は過年度未収金について、下段は破産更生債権について、それぞれ5年を超えて消滅時効が完成した債権等が計上されている。

（白鳥委員）

予算執行表（収入）の受益者負担金は、試算表の長期前受金に計上されているのか。

（事務局）

そのとおりである。

カ 農業集落排水事業会計

特になし

3 協議会議事

（１）協議事項

ア 協第24号 令和7年度財政援助団体等監査結果報告書・指導事項について

（ア）説明者

青野係長、山田参事及び宇佐美係長

（イ）要旨

議案集により説明

（ウ）発言等

特になし

（エ）結果

各監査委員が復命内容を吟味した結果、当該報告書は品質管理方針に規定された達成すべき水準を満たしていることを確認した。

深澤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、出席した監査委員の全員一致で承認された。

また、令和7年度財政援助団体監査実施計画では、経済局農政部農地整備課所管の静岡市土地改良事業等補助金に係る講評を実施することとしているものの、指摘事項、意見その他講評において伝達すべき事項がないことから講評を実施しない取扱いへと変更することを深澤代表監査委員が諮ったところ、出席した監査委員の全員一致で承認された。なお、この変更については、口頭により所管宛て通知する取扱いとされた。

イ 協第25号 令和7年度学校監査結果報告書・指導事項について

（ア）説明者

山田参事

（イ）要旨

議案集により説明

（ウ）発言等

特になし

（エ）結果

各監査委員が復命内容を吟味した結果、当該報告書は品質管理方針に規定された達成すべき水準を満たしていることを確認した。

深澤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、出席した監査委員の全員一致で承認された。

（２）報告事項

ア 報第13号 内部統制の不備に関する報告（令和7年11月分）について

（ア）説明者

宇佐美係長

（イ）要旨

報告事項により説明

(ウ) 発言等

特になし

(3) その他連絡事項

ア 令和7年度第8回定例協議会会議録の公表について・・・・・・山田参事が説明

イ 1月・2月の日程について・・・・・・・・・・・・・・・・・・柴次長が説明

4 閉会宣言 柴次長